



各 位

上場会社名
代表者
(コード番号)
問合せ先責任者
(TEL)

株式会社 タカギセイコー
代表取締役社長 笠井 千秋
4242)
取締役管理本部長 石黒 勝己
0766-24-5522)

繰延税金資産の取り崩し及び業績予想の修正に関するお知らせ

先般、公布された改正税法に基づき繰延税金資産の取り崩しを行うとともに、平成23年11月11日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,100	1,190	990	150	11.15
今回修正予想(B)	51,510	990	800	△260	△19.33
増減額(B-A)	1,410	△200	△190	△410	
増減率(%)	2.8	△16.8	△19.2	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	51,988	935	811	133	9.98

修正の理由

1. 繰延税金資産の取り崩しについて

平成23年12月2日付で公布された「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」に基づき、平成25年3月期以降に適用される法人税率が変更され、それに伴い過年度に計上された繰延税金資産を新たな法人税率により再計算することになりました。これにより、回収が見込まれなくなる約3億円の繰延税金資産の取り崩しを行います。

2. 業績予想の修正の理由

中国におけるパソコン筐体部品並びにインドネシアにおける二輪車及び自動車の需要拡大にともなう受注数量の増加等により、売上高は前回発表の50,100百万円を2.8%上回る51,510百万円の見通しとなりました。しかしながら、収益面では、「1. 繰延税金資産の取り崩しについて」で記載の通り繰延税金資産の取り崩しを行ったこと並びに中国でのパソコン筐体部品の新機種立ち上げ費用及び償却負担の増加等により、営業利益、経常利益及び当期純利益ともに前回発表の数値を下回る見通しとなりました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上